

定例会見(平成28年3月8日)

議事次第

○定例会見 代表取締役社長 菅原 秀夫

○会見内容

1. 今後の料金について
2. 新たなエスコートライトの設置について
3. 国立大学法人との包括協定の締結
4. 建設・改築事業の推移について
5. 技術コンサルティング事業の受注状況等
6. 最近の通行台数状況

○質疑応答

1. 今後の料金について

整備の経緯の違い等から、料金水準や車種区分等が路線や区間によって異なっていた首都圏(圏央道内側)の高速道路の料金体系について、三環状の整備の進展を踏まえ、これまでの整備重視の料金体系から対距離制を基本とした利用重視の料金体系へ平成28年4月1日午前0時より移行。

[1]これまでの主な経緯

- | | |
|---------------------|--|
| 平成27年 1月27日 | 高速道路を中心とした「道路を賢く使う取組」の基本方針及び意見募集
【社会資本整備審議会道路分科会国土幹線道路部会】 |
| 平成27年 7月30日 | 高速道路を中心とした「道路を賢く使う取組」の中間答申
【社会資本整備審議会道路分科会国土幹線道路部会】 |
| 平成27年 9月11日 | 首都圏の新たな高速道路料金に関する具体方針(案)【国土交通省】 |
| 平成27年 9月18日
~30日 | 首都圏の新たな高速道路料金に関する具体案について意見募集
【高速道路会社、(独)日本高速道路保有・債務返済機構】 |
| 平成27年12月18日
~25日 | 地方公共団体からの同意
【東京都、埼玉県、千葉県、横浜市、川崎市、さいたま市】 |
| 平成28年 2月29日 | 協定の締結【(独)日本高速道路保有・債務返済機構】 |
| 平成28年 3月 1日 | 事業変更許可【国土交通大臣】 |

[2]首都圏の新たな高速道路料金に関する具体方針(案)の概要

首都圏料金の賢い3原則

出典:H27.9.11 国土交通省「首都圏の新たな高速道路料金に関する具体方針(案)」

- ① 利用度合いに応じた公平な料金体系 ② 管理主体を超えたシンプルでシームレスな料金体系 ③ 交通流動の最適化のための戦略的な料金体系

平成28年4月からの具体方針

整備重視の料金

〔整備の経緯の違い等
料金水準や車種区分等に相違〕

圏央道などの整備進展

利用重視の料金

〔料金水準や車種区分を統一〕

①料金体系の整理・統一（対象は圏央道の内側）

【料金水準】 現行の高速自動車国道の大都市近郊区間の水準に統一

【車種区分】 5車種区分に統一

＜当面の措置＞

- ・ 首都高速、埼玉外環などについては、物流への影響や非ETC車の負担増などを考慮して、上限料金などを設定
- ・ 第三京浜など、現在の料金水準が低い路線については、高速自動車国道の普通区間を目安に料金水準を設定

②起終点を基本とした継ぎ目のない料金の実現

- 起終点間の最短距離を基本に料金を決定
（圏央道経由の料金＞都心経由の料金の場合）

[3]首都高の新たな料金の概要

【ETC車】

- ・現行の高速自動車国道の大都市近郊区間の料金と同じとする対距離制を導入
- ・ただし、物流への影響や非ETC車の大幅な負担増や、短距離利用の車の負担減による渋滞が起きないように、当面、上下限料金を設定

車種区分	料金額(下限額～上限額)
軽・二輪	270円～1,070円
普通車	300円～1,300円
中型車	310円～1,380円
大型車	390円～2,040円
特大車	460円～2,600円

(※)平成28年4月1日から平成33年3月31日までの料金額です。
料金額は0.1km毎の距離に応じて10円単位となります。

【現金車】

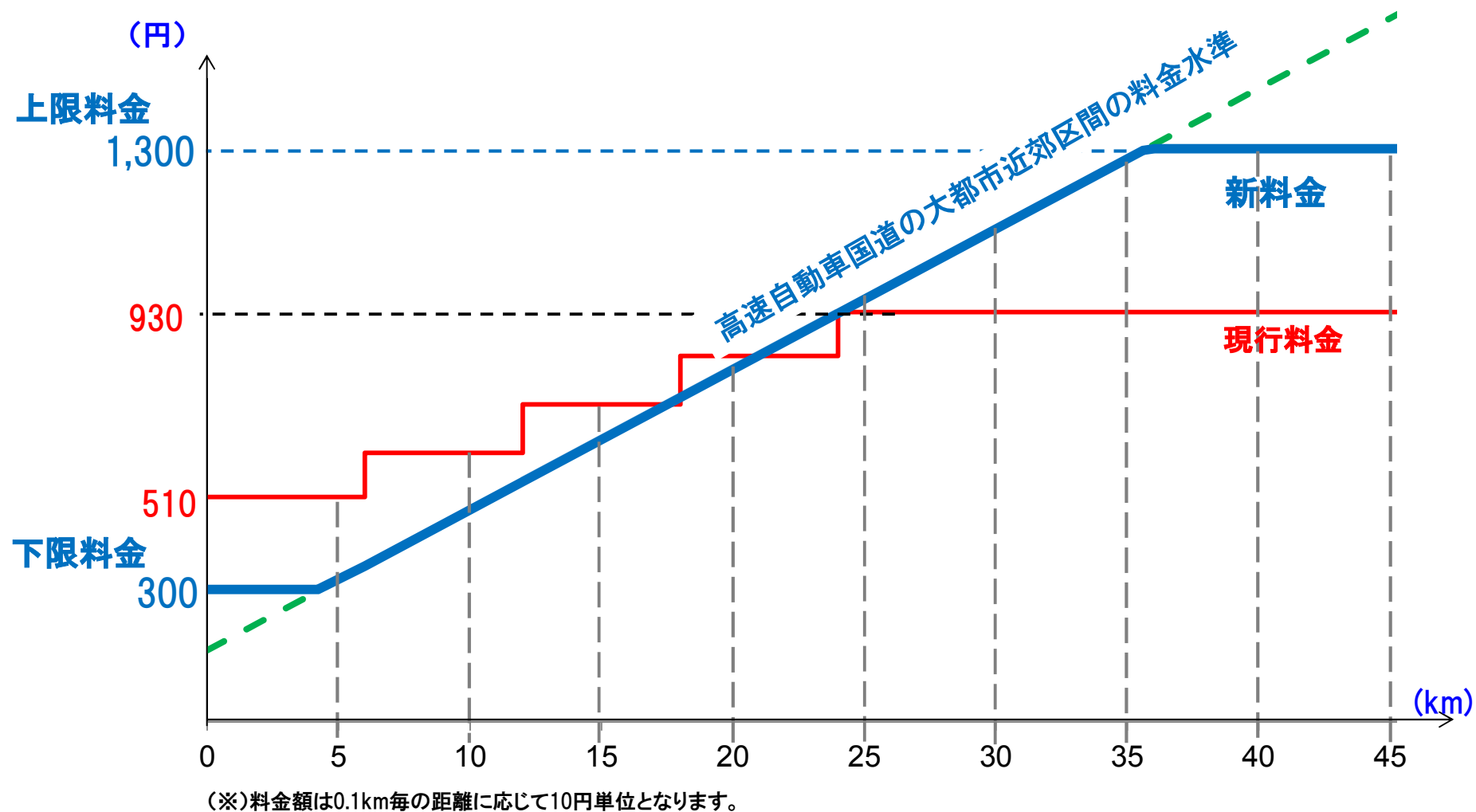
・原則として上限料金

車種区分	料金額
軽・二輪	1,070円
普通車	1,300円
中型車	1,380円
大型車	2,040円
特大車	2,600円

・ただし、郊外方向の端末入口料金所等は距離に応じた料金
(対象区間は以下のとおり)

料金所名	区間	料金距離	(例)普通車
本町(下)	①本町 → 入谷	3.7km	300円
永福(下)	④永福 → 高井戸(中央道接続)	3.4km	
杉田(西)	⑤杉田 → 並木(横浜横須賀道路接続)	4.0km	
新都心(下)	②新都心 → さいたま見沼	2.3km	
新都心西(下)	②新都心西 → さいたま見沼	4.1km	310円
八潮南(下)	⑥八潮南 → 常磐道・外環道接続	4.6km	
阪東橋	③阪東橋 → 横浜横須賀道路接続	4.7km	320円
新郷(下)	④新郷 → 東北道・外環道接続	4.9km	
足立入谷	④足立入谷 → 東北道・外環道接続	6.3km	360円
池尻	③池尻 → 用賀(東名高速接続)	6.4km	370円
浦安(東)	⑤浦安 → 東関東道接続	6.4km	
初台	④初台 → 高井戸(中央道接続)	6.7km	380円
錦糸町(下)	⑦錦糸町 → 京葉道路接続	7.9km	410円
錦糸町(上)出口	⑦京葉道路接続 → 錦糸町	7.9km	
浦和北	⑤浦和北 → さいたま見沼	8.0km	420円
葛西(東)	⑤葛西 → 東関東道接続	9.8km	470円
鹿浜橋(下)	④鹿浜橋 → 東北道・外環道接続	10.3km	490円
外苑(下)	④外苑 → 高井戸(中央道接続)	10.6km	500円
三溪園	⑤三溪園 → 並木(横浜横須賀道路接続)	10.9km	510円
扇大橋(内)	②扇大橋 → 東北道・外環道接続	13.6km	600円
浦和南本線 浦和南出口	⑤戸田・外環道 → さいたま見沼	13.8km	
板橋本町(下)	⑤板橋本町 → さいたま見沼	25.0km	960円

【普通車(ETC)の例】

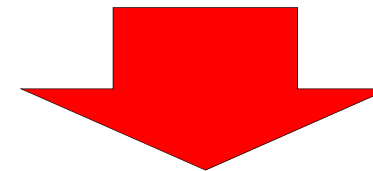
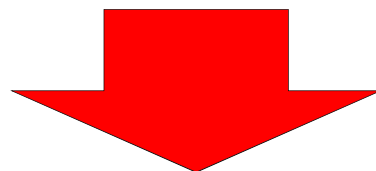


[4]車種区分の整理・統一

車種区分を現行の2車種区分から5車種区分に移行

【平成28年3月まで】

現行車種区分	普通車	大型車
車種間比率	1.0	2.0



【平成28年4月より】

新車種区分	軽・二輪	普通車	中型車	大型車	特大車
車種間比率	0.8	1.0	1.07	1.65	2.14

(注) 中型車及び特大車は、平成28年4月から平成33年3月31日までの比率

[5]ETC割引の概要

① 大口・多頻度割引(割引率拡充)

- ・車両単位割引最大20%
(既存分は最大12%)
- ・契約単位割引10%
- ・中央環状線の内側を通行しない交通に対しては5%拡充

② 環境ロードプライシング割引

- ・現行の割引を継続する

③ その他割引(新規)

都心流入割引

- ・外環内側から都心環状線内の流出入については、最短距離の出入口までの距離を基本に料金を設定する。なお、現行の上限料金930円(普通車)を上限とする

都心流入・湾岸線誘導割引

- ・横浜都心部から都心環状線内の流出入について、現行の上限料金930円(普通車)を上限とする。
※湾岸線利用に限る

※都心流入割引、都心流入・湾岸線誘導割引により、都心環状線内のどの出入口を利用しても利用距離にかかわらず同一料金となる



※障がい者割引(現金車も適用)、ETC路線バス割引は継続

※会社間乗継割引、埼玉線内々利用割引、放射道路端末区間割引、中央環状線迂回利用割引、羽田空港アクセス割引については、平成28年3月31日をもって終了

[6]料金の具体例

都心部		<>内は現金車料金	
1	渋谷 → 霞が関 (5.1km)	現行 510円 <930円>	新料金 320円 <1,300円>
中央道・東名方面			
2	高井戸 → 銀座 (19.0km)	現行 720円 <930円>	新料金 620円 [※] <1,300円>
3	東名高速 → 三郷JCT (40.3km)	現行 930円 <930円>	新料金 1,300円 <1,300円>
横浜方面			
4	保土ヶ谷バイパス・横浜横須賀道路 → 阪東橋 (4.7km)	現行 410円 <930円>	新料金 310円 <1,300円>
埼玉方面			
5	与野 → 美女木JCT (7.9km)	現行 610円 <930円>	新料金 410円 <1,300円>
千葉方面			
6	京葉道路 → 新宿 (22.7km)	現行 820円 <930円>	新料金 890円 <1,300円>

※料金額はETC・普通車の場合



[7]現金でご利用のお客様向けキャンペーンを実施

首都圏ETCキャンペーン

(首都高 ・ NEXCO東日本 ・ NEXCO中日本)



【メニュー】

(1)ETC2.0車載器導入助成

10,000円(税込)×先着50,000台割引！！

(2)ETC利用履歴発行プリンター購入助成

30,000円(税込)×先着200台割引！！



【キャンペーン期間】

平成28年3月10日(木)～平成28年6月30日(木)まで

⇒ その他、道路事業者6社でETCパーソナルカードに係る対策を実施予定

【料金に関するお問合せ先】

■首都高お客様センター料金特設ダイヤル

☎0570-033-554(24時間)(5月9日午前7:00まで開設)

【ETCキャンペーンに関するお問合せ先】

■首都圏ETCキャンペーン 事務局

☎03-6262-5235(9:30～17:00)(土日祝・年始年末を除く)

2. 新たなエスコートライトの設置について

3月9日(水)に中央環状線(外回り)扇大橋付近において新たに開発した薄型「エスコートライト」を設置

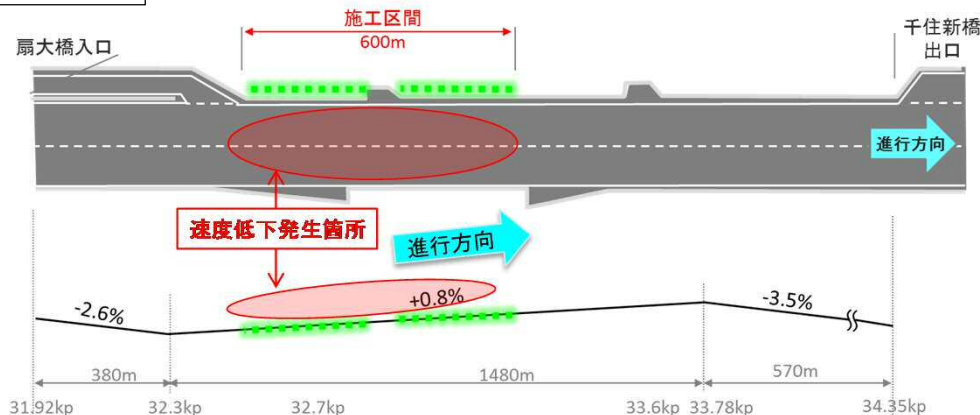
エスコートライトは、上り勾配で速度低下による渋滞が発生している箇所において、路側に設置した灯具の光を進行方向へ流れるように点灯させ、速度低下を防ぐ渋滞対策装置。

今回の設置区間は、上り勾配となっており、朝夕のピーク時を中心に平日の日中はほぼ毎日渋滞が発生。多いときは扇大橋付近を先頭に板橋JCTまで渋滞が延伸。



設置概要図

中央環状線(外回り) 扇大橋付近



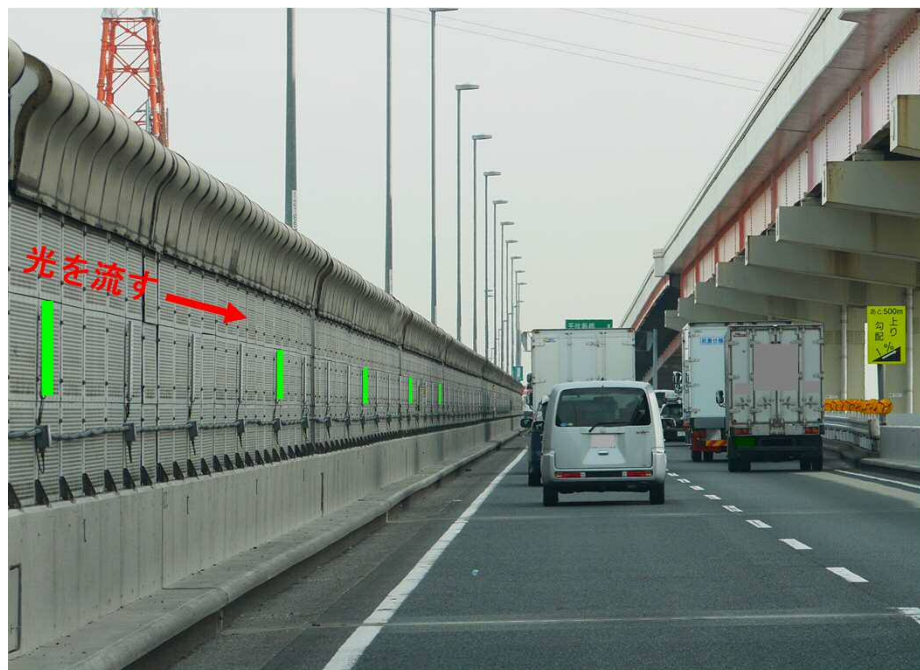
渋滞状況図

中央環状線(外回り)扇大橋付近を先頭とする渋滞状況(タピーク時)



首都高での導入は2例目で、今回は昨年2月に3号渋谷線（下り）池尻付近に初めて設置したものと比較し、コストを抑え、スペースが無い箇所にも設置可能な薄型のエスコートライトとした。
 なお、3号渋谷線（下り）池尻付近に設置したエスコートライトは、最大通過台数が約3%向上し、効果が継続。

運用イメージ



【今後の他の箇所への展開予定】

- ・中央環状線（内回り）**千住新橋付近[3月中旬]**

他に、中央環状線（内回り）**中野長者橋付近**への設置についても検討中

今回設置するエスコートライトの概要

設置場所	中央環状線（外回り）扇大橋付近 （扇大橋～千住新橋間の左側600m区間）
運用開始	平成28年3月9日（水）6時
点灯時間	朝～夜まで連続点灯し、深夜は消灯 （運用開始後の交通状況により見直します）
灯具形状	遮音壁に設置可能な薄型構造

設置写真（灯具は赤枠）

側面図

3. 国立大学法人との包括連携協定の締結

双方の資源を有効に活用し、高速道路の建設、維持管理、環境など相互協力が可能な全ての分野における産学連携を推進することにより、研究成果の普及・社会活用を促進するとともに、人材育成、学術振興及び教育の充実等の推進に資することを目的とし、国立大学法人と包括連携協定を締結した。

[1] 協定締結式の概要

(1) 横浜国立大学との協定締結式

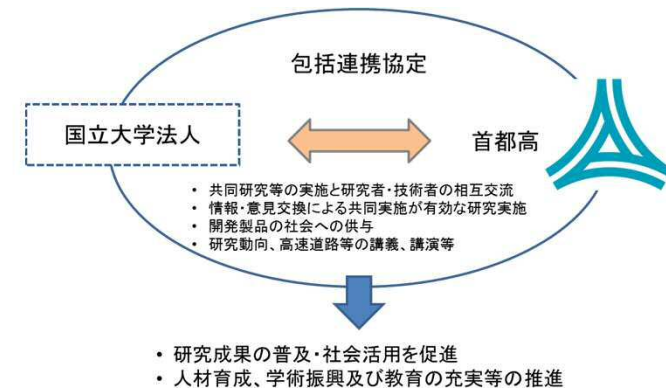
- ・日 時:平成27年12月25日(金)14時
- ・場 所:横浜国立大学
- ・締結者:長谷部 勇一学長 菅原 秀夫社長

(2) 埼玉大学との協定締結式

- ・日 時:平成28年2月3日(水)15時
- ・場 所:埼玉大学
- ・締結者:山口 宏樹学長 菅原 秀夫社長

[2] 連携項目

- ・共同研究、委託研究、寄附講座等の実施とこれに伴う研究者及び技術者の相互交流
- ・相互の情報交換及び意見交換に基づく共同で実施することが有効な研究案件の実施
- ・技術連携に基づき開発した製品の社会への供与
- ・最新の研究動向、高速道路等に関する講義、講演等の実施
- ・その他、上記以外の交流

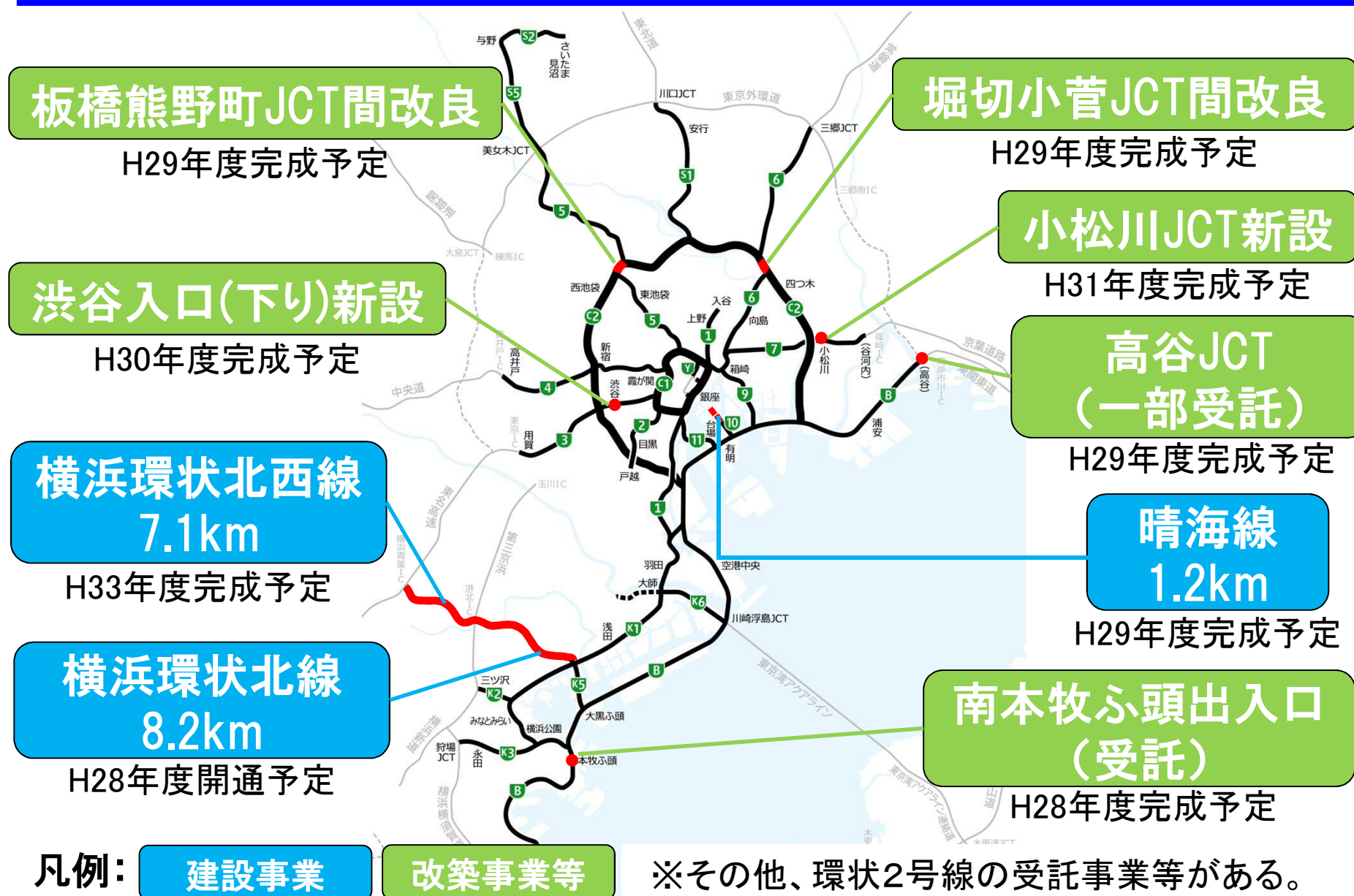


国立大学法人横浜国立大学との締結式



国立大学法人埼玉大学との締結式

4. 建設・改築事業等の進捗状況



[1] 横浜環状北線・北西線の進捗状況

- 北線：トンネル部の内装工、施設工、高架区間の上部工、橋面工等を実施中
- 北西線：用地取得98%完了(96画地/98画地) 平成28年1月末現在
高架部の基礎工を実施中、また横浜市より受託しているトンネル工事の
シールドマシン設計・製作中



写真① 北西線発進立坑部
(立坑掘削工(市施工))



写真② 北線港北JCT(鶴見川並行部)
(橋面工)



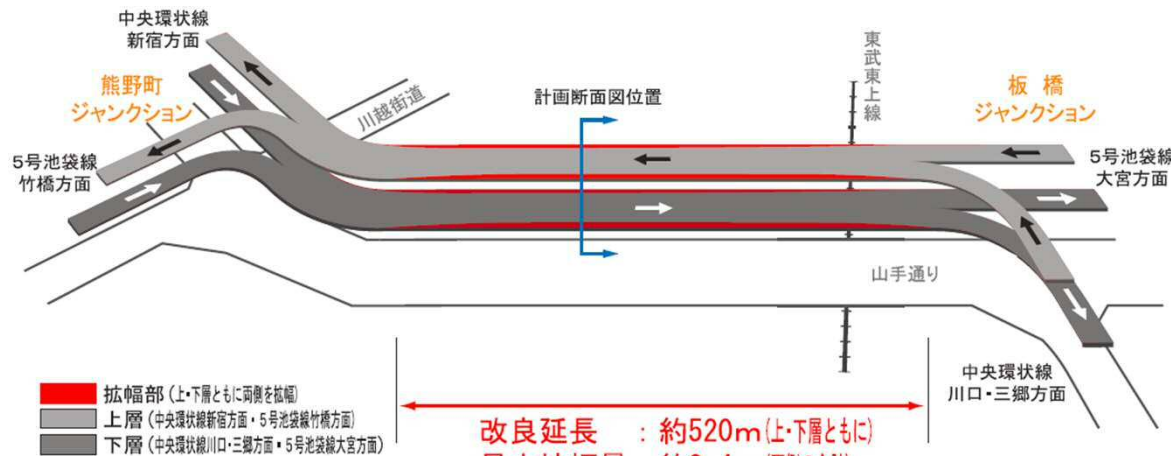
写真③ 北線トンネル内装工



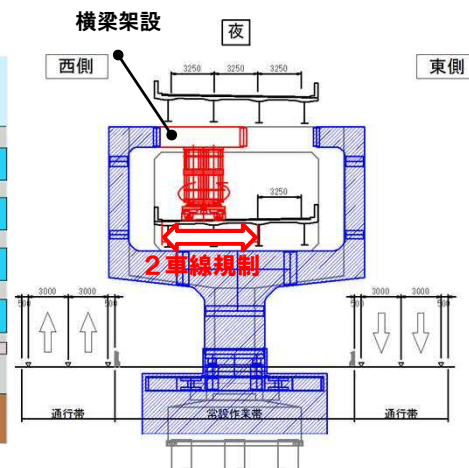
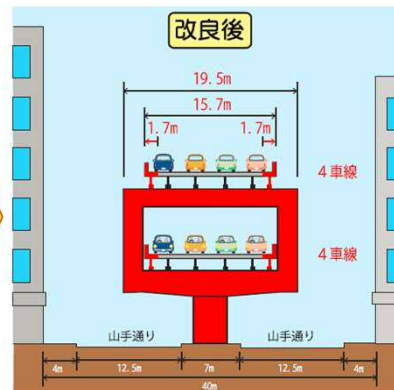
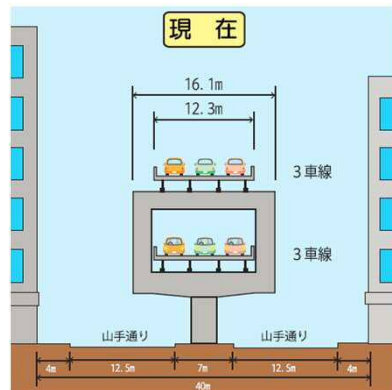
写真④ 北線生麦JCT
(上部工、橋面工)

[3]板橋熊野町JCT間改良の進捗状況

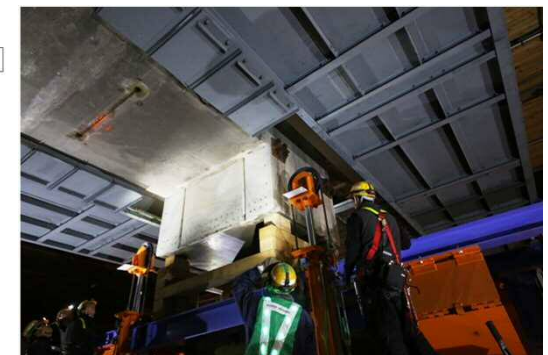
- 基礎工、橋脚工、既設橋脚撤去を実施中
- 平成27年2月より高速上夜間規制を本格的に開始



改良延長 : 約520m (上・下層ともに)
 最大拡幅量 : 約3.4m (両側の合計)
 完成予定: 平成29年度



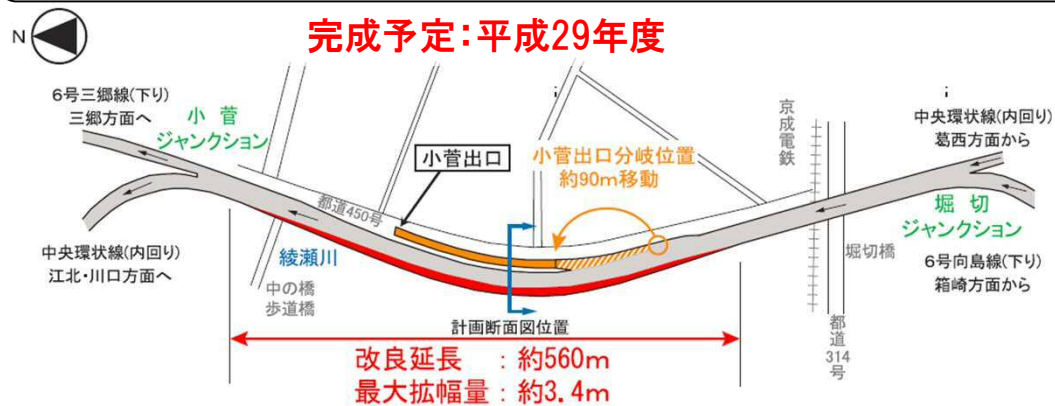
橋脚架設状況(夜間規制)



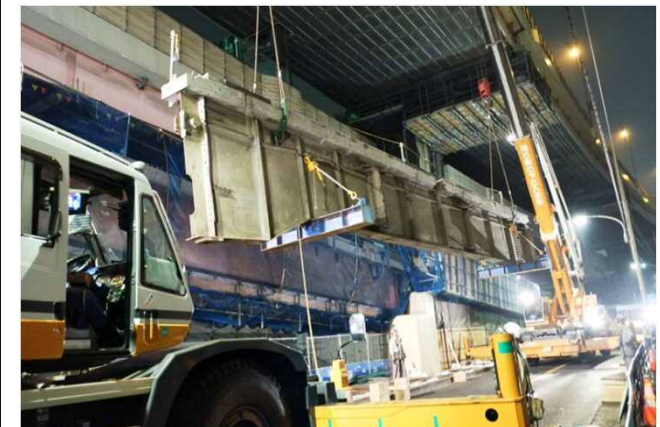
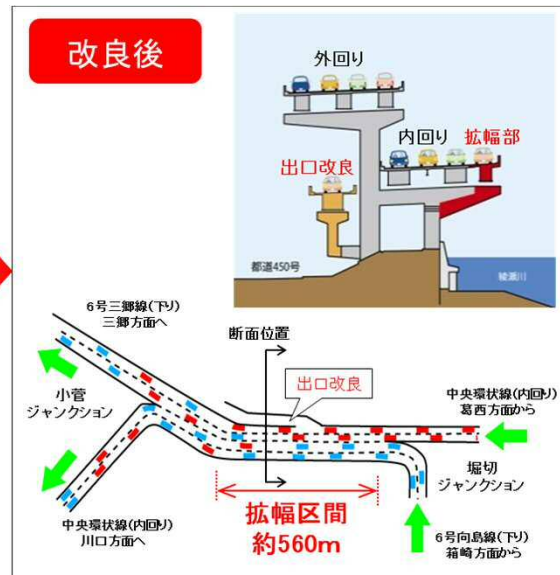
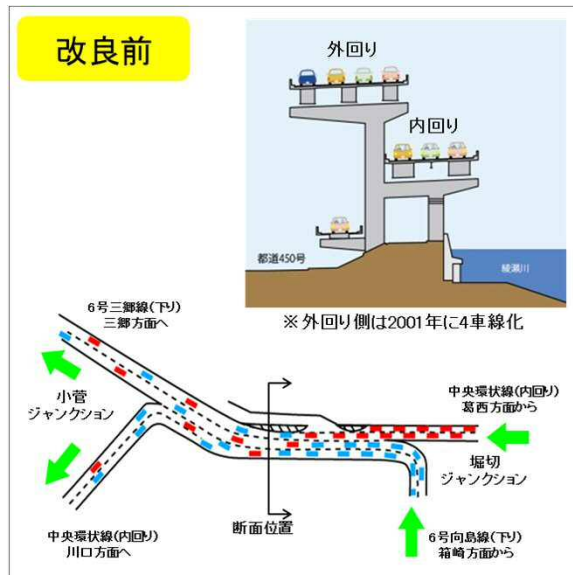
既設橋脚撤去状況(夜間規制)

[4]堀切小菅JCT間改良の進捗状況

○ 小菅出口を長期閉鎖(H27.8.24~H28.9末)し、出口の付替及び橋脚補強工を実施中



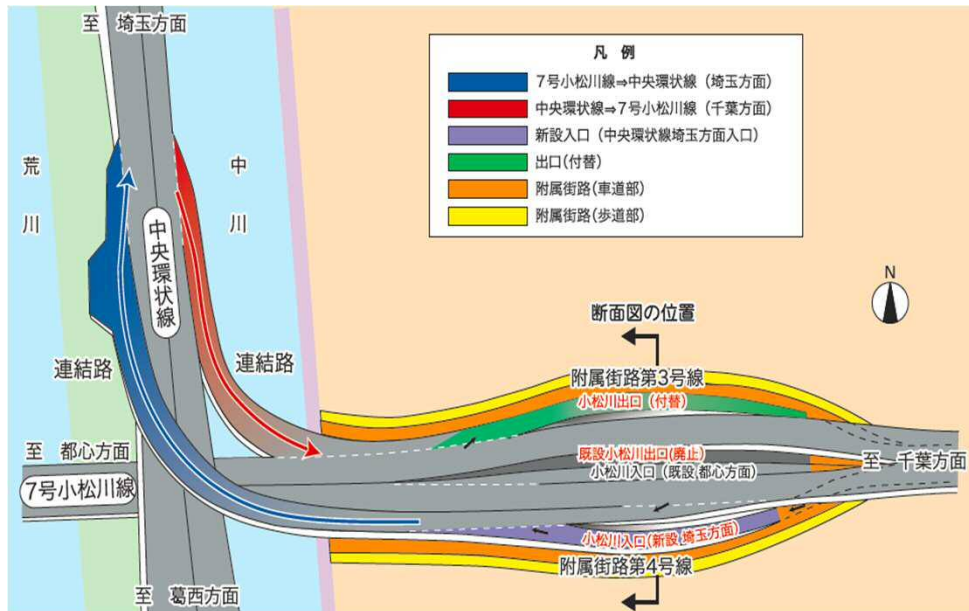
小菅出口閉鎖状況



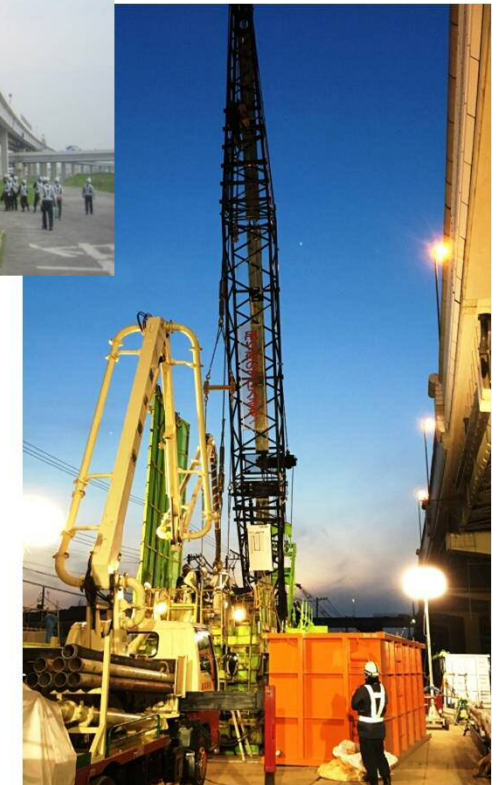
小菅出口桁撤去状況

[5]小松川JCTの進捗状況

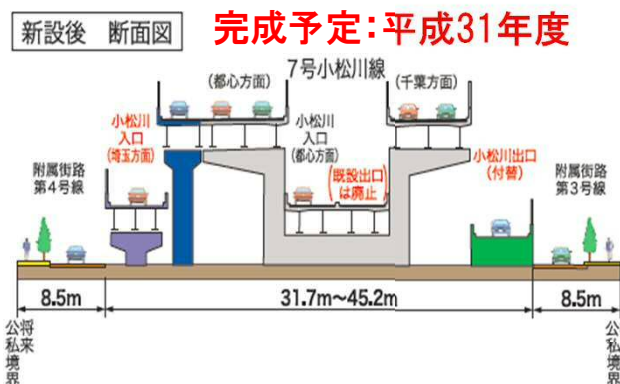
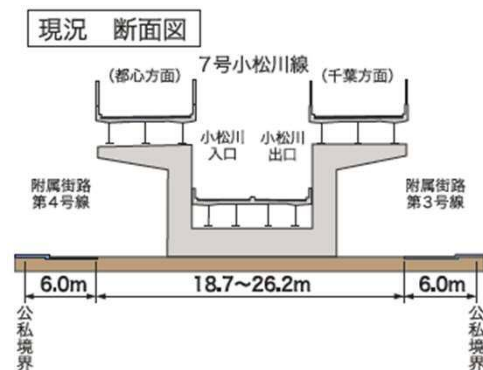
- 河川部では橋脚架設工を実施中
- 陸上部では用地取得を完了(全105画地)し、基礎工を実施中



河川部 橋脚架設工

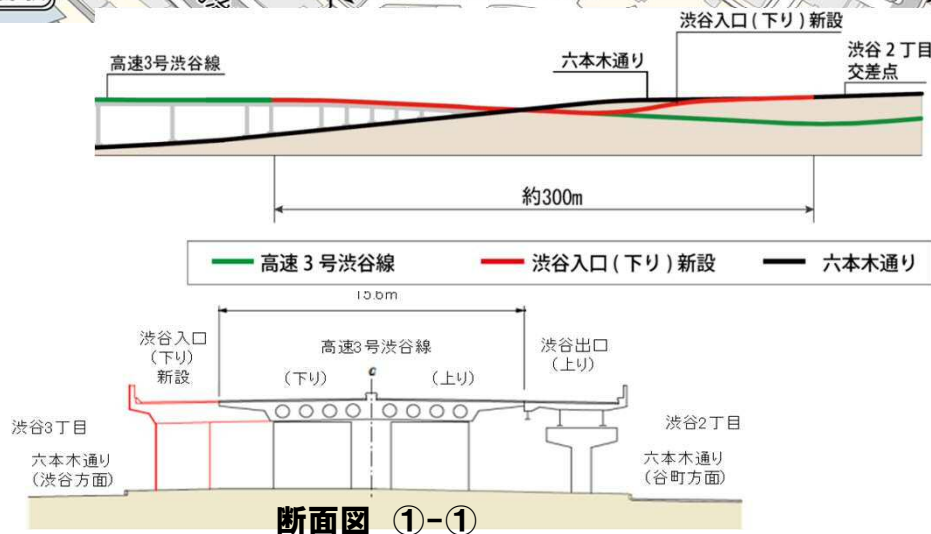


陸上部 基礎工



[6] 渋谷入口の進捗状況

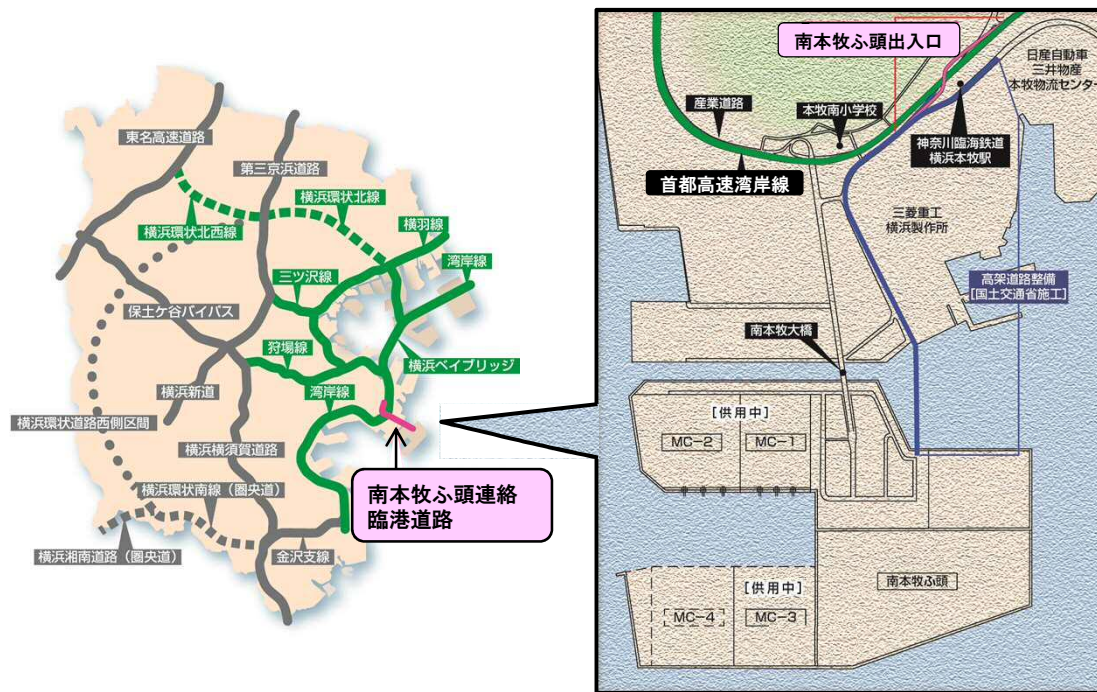
- 平成27年2月に都市計画事業認可
- 平成27年5月に事業説明会を実施
- 平成27年12月に工事契約
- 平成28年3月に工事説明会を実施し、工事着手予定



写真① 入口計画位置

[7]南本牧ふ頭出入口(受託)の進捗状況

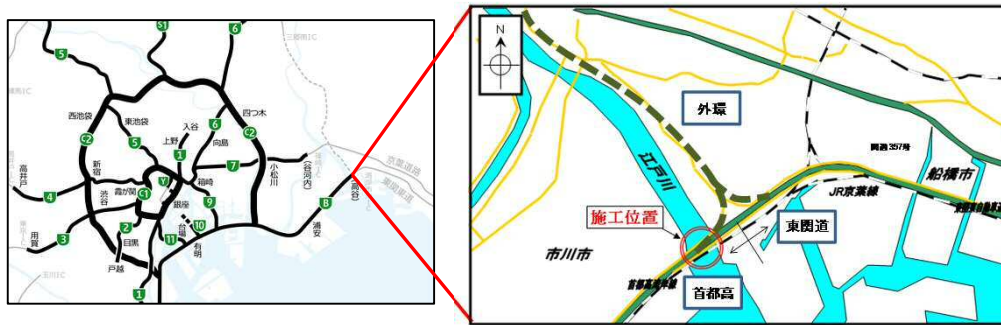
- 南本牧ふ頭と直結する湾岸線出入口の整備について、横浜市より工事を受託
- 橋脚工が全て完了し、現在、上部工、橋面工、施設工を実施中
- 平成27年11月に湾岸線通行止めを行い、大型クレーンによる一括架設を実施



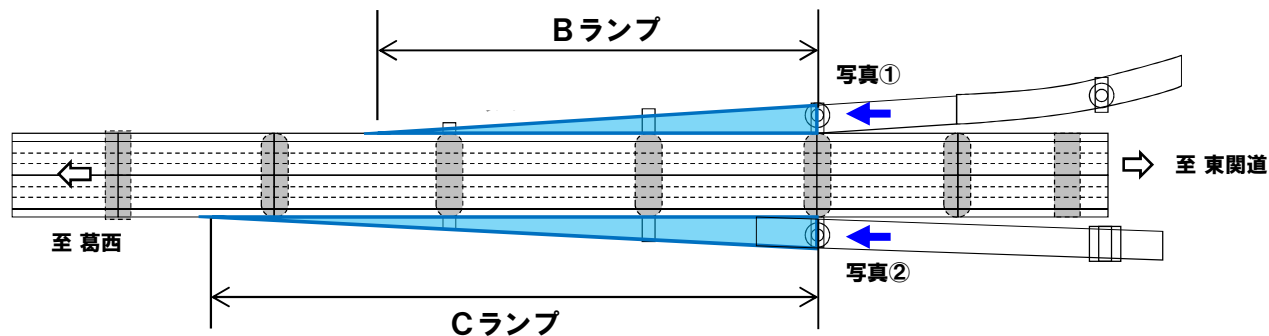
写真① 一括架設状況
(湾岸線横断面部)

[8]高谷JCT(一部受託)の進捗状況

- 高速湾岸線とNEXCO東日本が建設中の東京外かく環状道路(三郷～高谷)とが
接続する高谷JCTについて建設中(一部NEXCO東日本より工事を受託)
- 下部工が全て完了し、現在、上部工を実施中



Bランプ:受託事業範囲(約250m)
Cランプ:首都高速事業範囲(約330m ※一部受託範囲含む)
完成予定:平成29年度



写真① Bランプ部
(上部工桁架設完了)



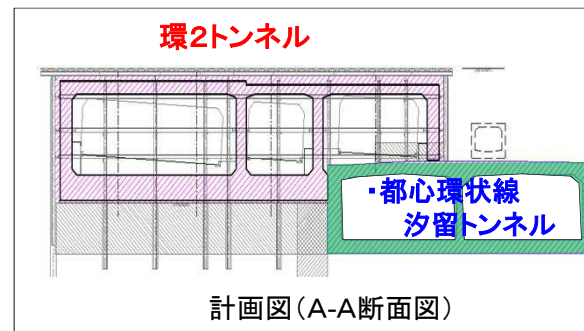
写真② Cランプ部
(上部工桁架設完了)

[9]環状2号線トンネル(受託)の進捗状況

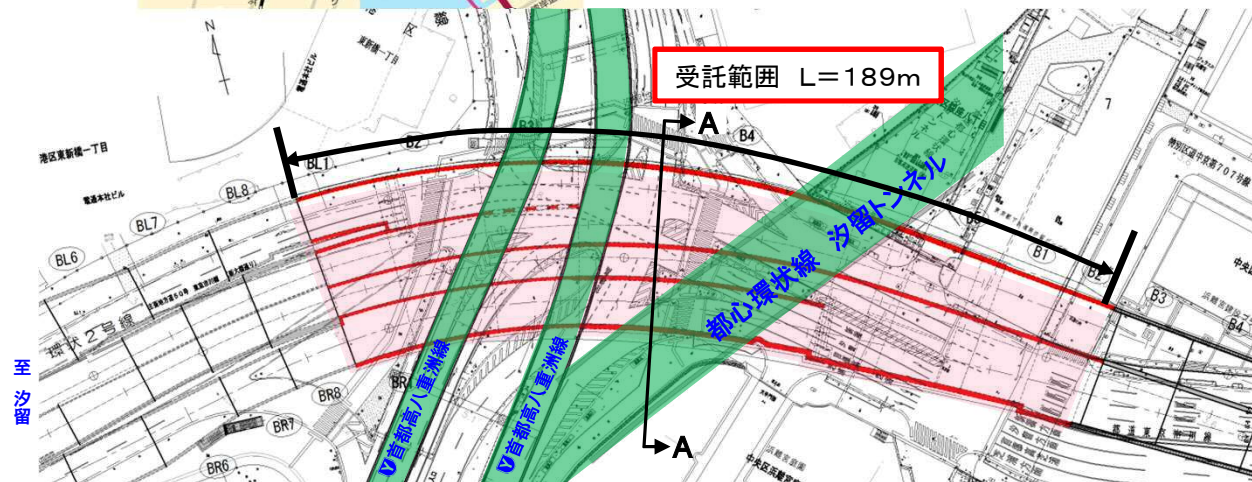
- 東京都より環状第2号線と首都高速(高速都心環状線・高速八重洲線)の交差部のトンネル工事を受託
- 路面覆工、中間杭工、地盤改良工、掘削工を実施中



受託期間:平成31年度



路面覆工



地盤改良工

5. 技術コンサルティング事業の受注状況等

[1] 国内技術コンサルティング事業

(1) 今年度の受注状況

- 土木分野では橋梁の点検、補修・補強設計等を39件受注
- 建築分野では建物耐震診断を17件受注

(2) その他

橋梁の維持管理技術に関する勉強会を実施。

- ・ 日 時：11月19日
- ・ 場 所：湾岸線舞浜大橋（鋼床版箱桁橋）
- ・ 参加者：国、東京都、その他地方公共団体の職員（35名）
- ・ 内 容：鋼床版のき裂補修工・老朽化した点検通路の取替工・HTB(F11T)取替工の現場視察等



橋梁の維持管理技術に関する勉強会
（湾岸線舞浜大橋）

[2] 海外技術コンサルティング事業

(1) 今年度の受注状況

JICA等からの受注のほか、タイ国運輸省国道局(DOH)の下記業務に当社として初めて参入するなど、11件を受注。

- ・ 業 務：ITS/ETCの標準化仕様作成検討業務
- ・ 発注者：タイ国運輸省国道局(DOH)
(当社はタイのコンサルタント会社ITSC社からの再委託)
- ・ 工 期：平成28年2月1日から210日間

(2) その他

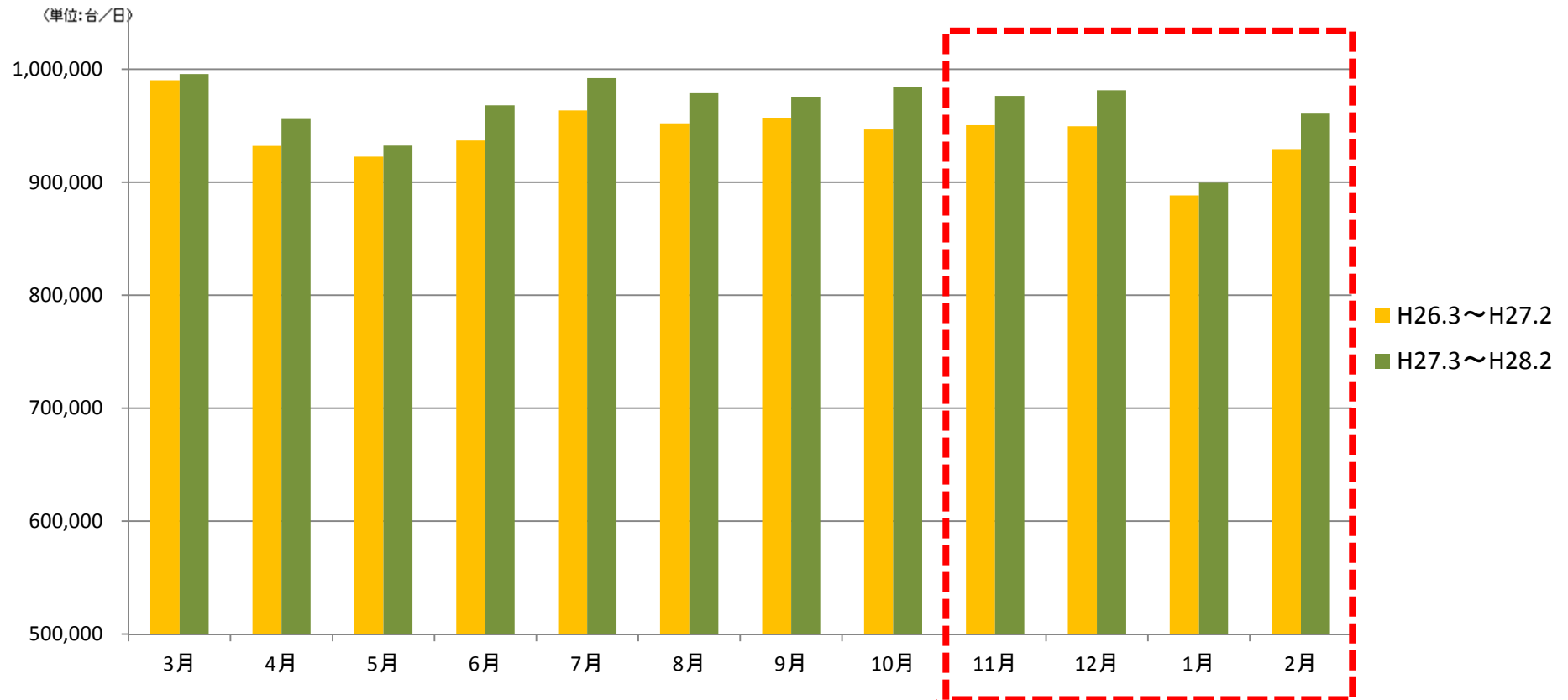
- 60ヶ国から約400名の海外からの要人や技術者の視察・研修の受入を実施(2月末時点)
- プロリントス社(マレーシア)と技術協力覚書を締結(12月3日)



タイ国運輸省地方道路局(DRR)の
道路・橋梁維持管理研修

6. 最近の通行台数状況

通行台数の推移(最近の状況)



	11月	12月	1月	2月
通行台数(台/日)	976,371	981,375	899,606	960,699
前年同月比	102.7%	103.3%	101.3%	103.4%

・ 2月は速報値。